




# 最近の東北財務局管内の経済情勢等






令和3年4月  
東北財務局

# I. 最近の東北財務局管内の経済情勢

	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較	判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある		<p>個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。</p> <p>生産活動は、電子部品・デバイスが自動車向けなどで好調となっているほか、生産用機械が海外の設備投資需要を背景に高水準となっているなど、持ち直している。</p> <p>雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。</p>

## 〔先行き〕

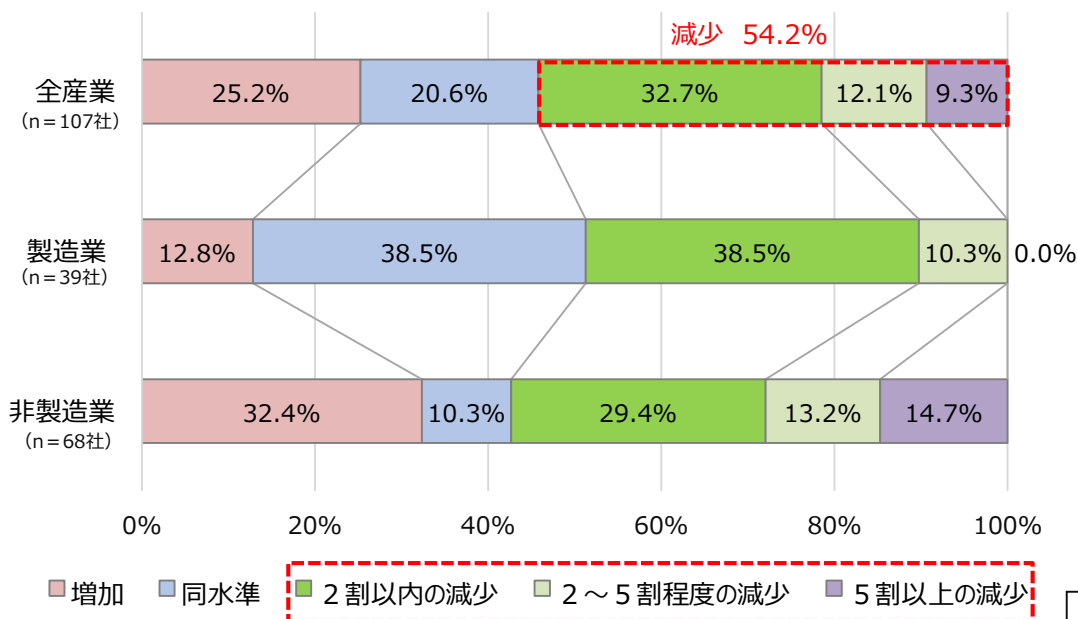
感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	
設備投資	2年度は減少見込み	2年度は減少見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	

※令和3年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

## Ⅱ. 新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響（企業業績）

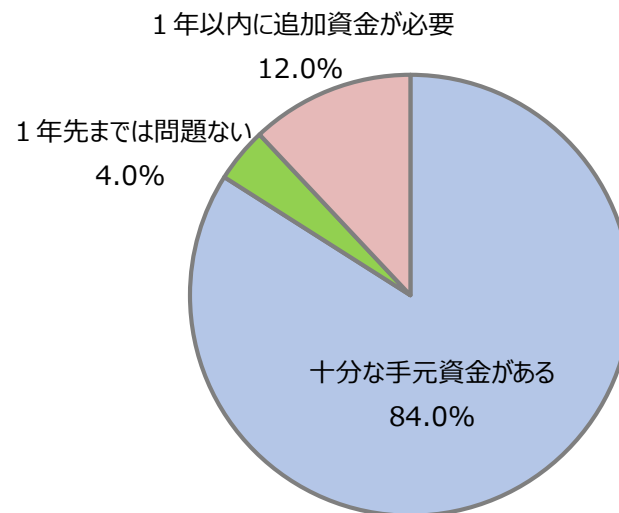
企業の業績（売上高等への影響）



### 企業の声

- 経済活動の再開に伴い、海外向けや国内向け製品の需要が回復傾向にあるが、感染症の影響により売上は前年比2割程度減少となっており、完全には戻りきっていない。  
【鉄鋼・中堅企業】
- 自動車向けの製品で受注に弱さがみられる時期があったが、パソコン向けやスマホ向けの製品の受注は順調となっており、工場もフル稼働の状況で特に影響はない。  
【電子部品・デバイス・大企業】
- 内食需要により飲食料品は引き続き好調となっており、売上も前年比増。  
【スーパー・中小企業】
- GoToキャンペーンの一時停止や感染症の再拡大の影響もあり、売上が前年比5割以上落ち込んでいる。  
【宿泊・中小企業】

企業における資金繰りの見通し



(注) 回答社数：75社（親会社等からの資金調達や不明と回答した企業を除く）

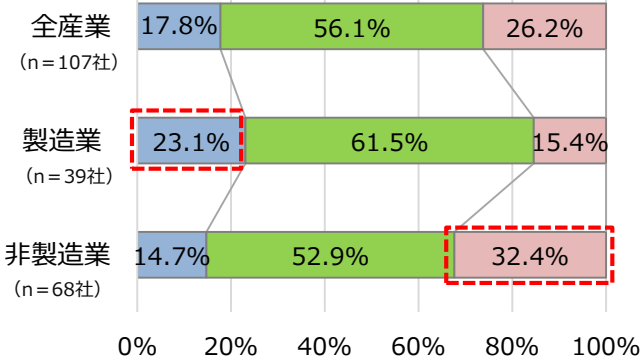
### 企業の声

- 不要不急の設備投資の抑制等により手元資金を確保しており、現時点で問題はない。  
【輸送機械・大企業】
- 内食需要を背景に小売向けの販売が好調。増収増益となっており、手元資金にも問題はない。  
【食料品・中堅企業】
- 内食需要により売上増となっており、手元資金に問題はなく、むしろ設備投資を計画的に進めている。  
【スーパー・大企業】
- GoToキャンペーンの一時停止や感染症の再拡大の影響もあり、年末からキャンセルが続いており、厳しい状況。金融支援により追加資金を確保。  
【旅行代理店・中堅企業】
- 緊急事態宣言の再発出の影響等により、足下の売上は5割以上減少。金融支援により追加資金を確保。  
【宿泊・中堅企業】

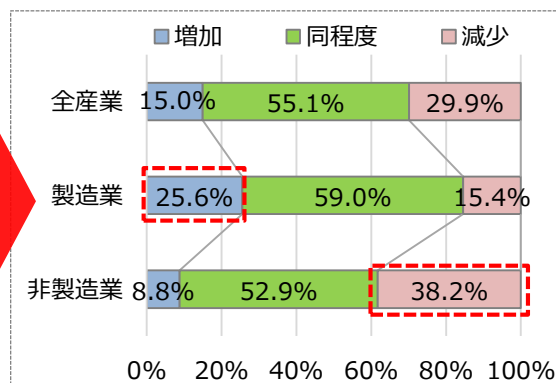
## Ⅱ. 新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響（雇用）

従業員数の過不足感  
(感染症の拡大前と足下との比較)

■ 不足感が強まった (過剰感が弱まった) ■ 変化なし ■ 不足感が弱まった (過剰感が強まった)



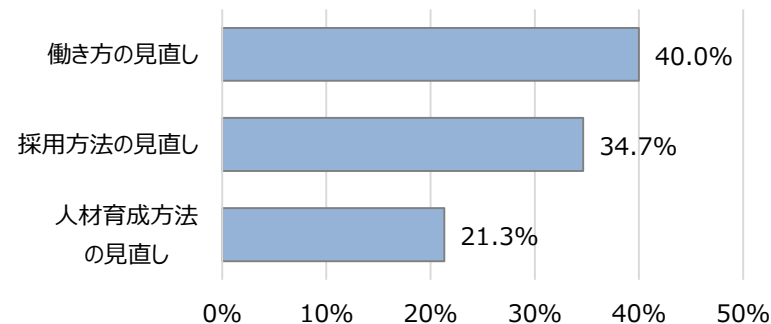
過不足感への対応において、労働時間の面では、



### 企業の声

- 受注の回復に伴い、生産現場の人手不足感が強まっており、労働時間も増加。  
【鉄鋼・中堅企業】
- 以前は中途退職により人手不足であったが、感染症の影響により工場の操業度が低下しており、従業員の不足感は弱まっている。  
【パルプ・紙・中堅企業】
- 従業員の過不足感に変化しておらず、慢性的な人手不足が続いている。  
【食料品・中小企業】
- 感染症の影響により従業員の過剰感が強まっており、休業のため雇用調整助成金を活用している。  
【宿泊・中小企業】
- 感染症の影響による業務量の減少に伴い、グループ会社間で配置転換を実施し、適正な人員規模となるよう調整している。  
【旅行代理店・中堅企業】
- 感染症の影響により対面での接客に不安のある従業員が退職しており、従業員の不足感が強まっている。  
【スーパー・大企業】

雇用に関する中長期的な対応（全産業）



(注) 回答社数：75社（複数回答。「必要性は感じない」と回答した企業を除く）

### <参考> 中長期的に不足が見込まれる職種（全産業）

職種	割合
現場の技能労働者	32.0%
現場で定型作業を担う人材	25.8%
社内事務のIT化を推進する人材	19.6%
専門人材（営業、法務、M&A等）	13.4%

(注) 回答社数：97社（複数回答。「不明」と回答した企業を除く）

### 企業の声

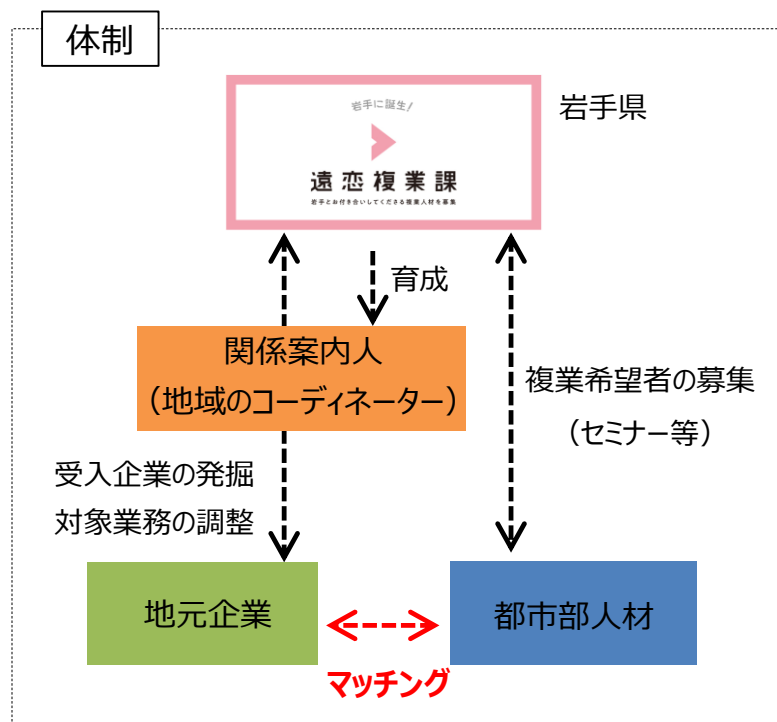
- 従業員が業務の繁忙に応じて他の部門をカバーできるよう、複数の業務に対応できる体制を推進していく。  
【宿泊・中小企業】
- 感染拡大に伴い、テレワークを積極的に実施。今後も継続し、多様な働き方を後押ししていく。  
【電子部品・デバイス・大企業】
- 新事業の研究開発等のため、専門人材の中途採用を積極的に行う。  
【建設・中堅企業】
- 他業態との競合が激しいなか、売上を拡大していくために必要な人材確保や社員教育に更に力を入れていく。  
【ホームセンター・中小企業】

### Ⅲ. 事例紹介（岩手県）



## えんれん 岩手県「遠恋複業課」

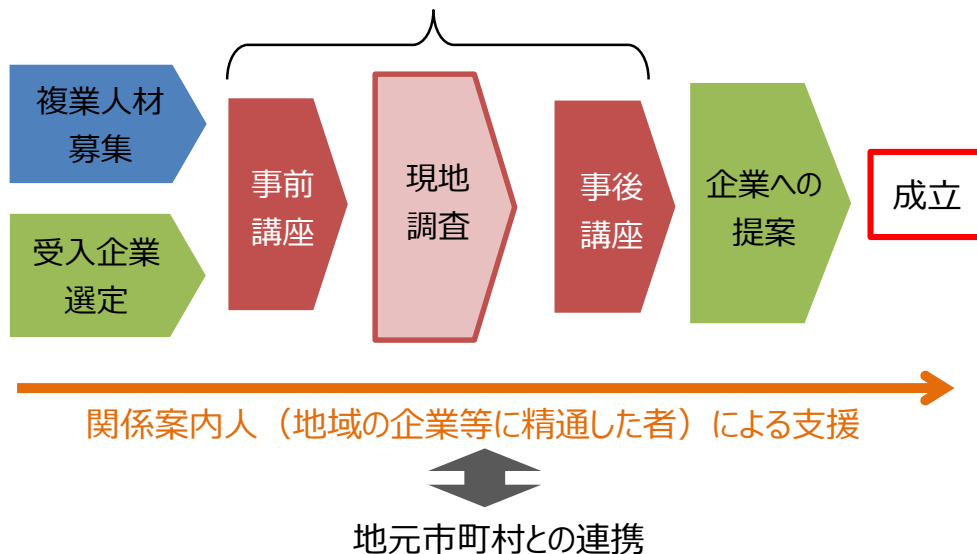
- 地元企業が抱える課題解決や担い手不足の解消を目的に、複業を希望する都市部人材とのマッチングを支援。
- 遠距離恋愛になぞらえ、「遠恋複業課」と名付けたバーチャル組織により活動。
- 当県における関係人口の質的・量的拡大を目指し、平成30年度から事業開始。



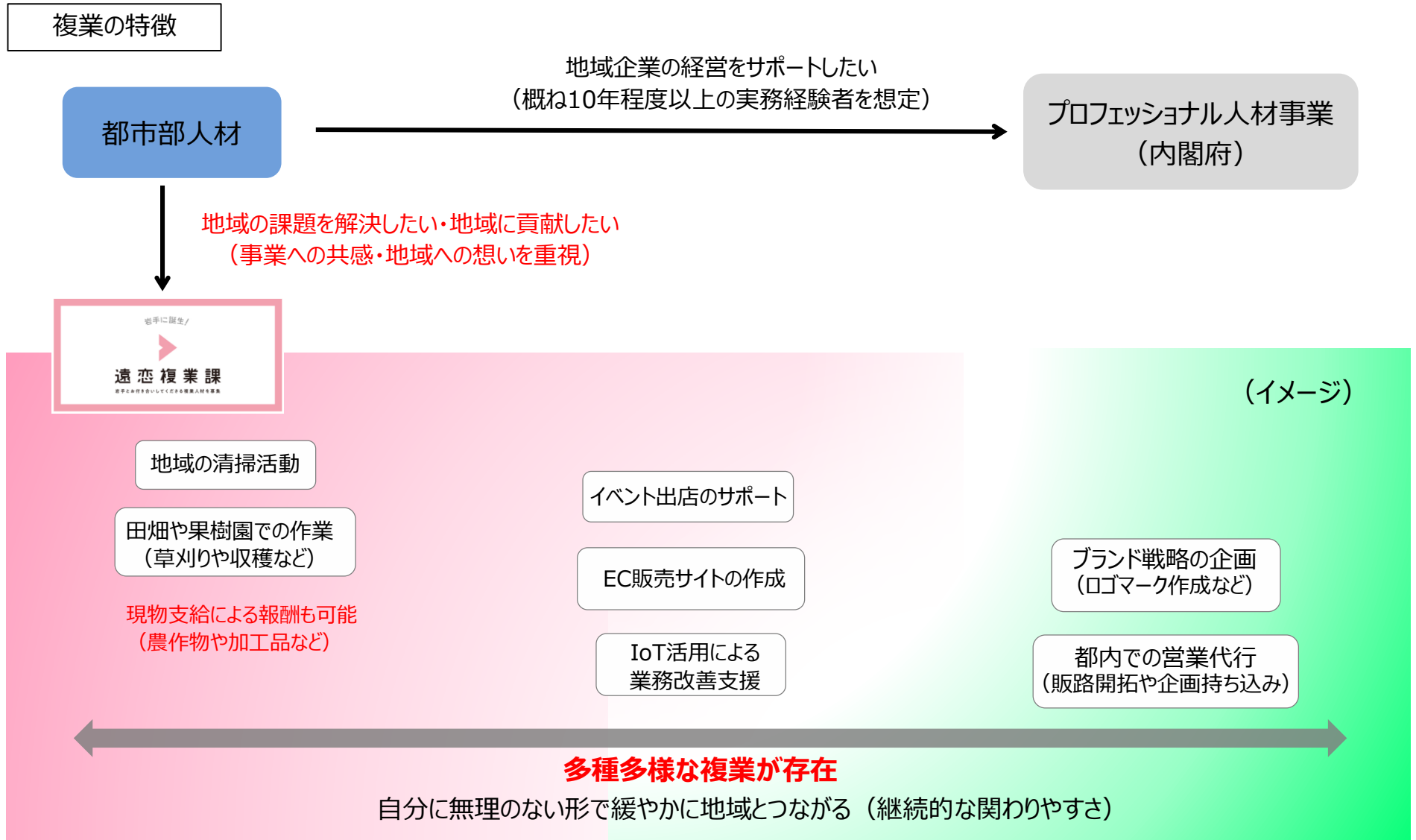
(注) 資料中のロゴマークは岩手県の提供

### マッチングまでの過程

企業の課題や地域の実情を理解する機会  
(企業毎の課題に即した提案、継続的に地域と関わる意欲を引き出す)



### Ⅲ. 事例紹介（岩手県）



○ 受入企業と複業人材は、地域や事業への共感を通じて信頼関係を構築

⇒ 感染拡大が続くなか、互いの不安を解消し、新たな営業手法により販路開拓につながるケースも

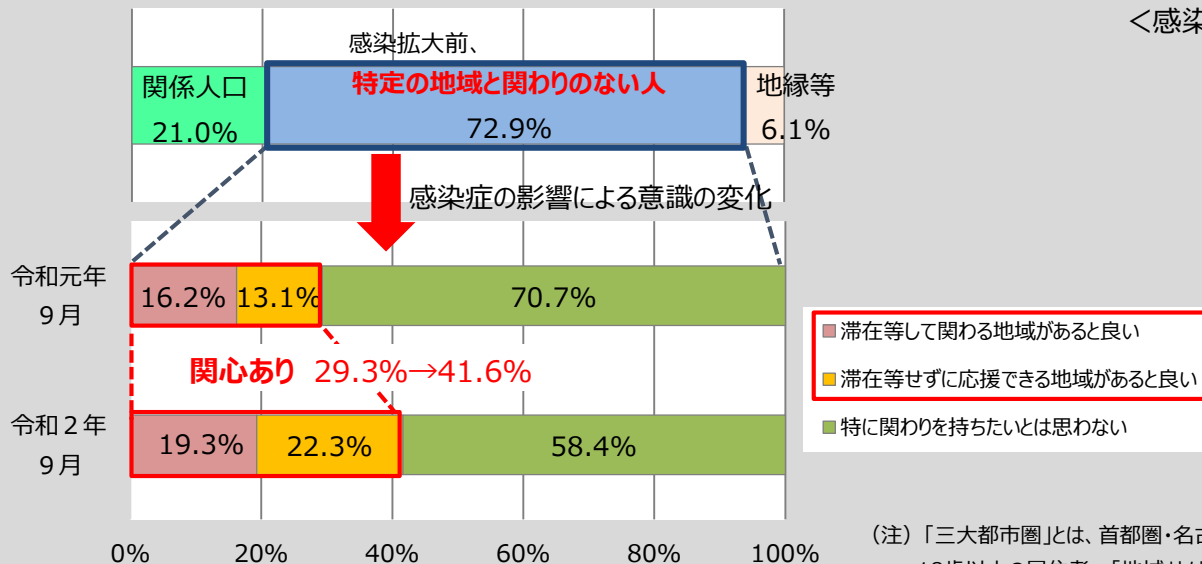
### Ⅲ. 事例紹介（岩手県）

#### 最近の傾向

- ①複業人材：「地域とつながる」・地域貢献等への関心の高まりやコロナ禍での変化もあり、複業希望者は比較的集まりやすい。
- ②活動手法： 現地調査や説明会など対面でのイベントをオンラインによる開催に切り替えて対応。
- ③地元企業：「地域外からの人の受入れ」など複業に対するハードルが、感染症の影響もあり、より高くなっている。

#### ①複業人材

＜三大都市圏居住者の地域との関わり＞

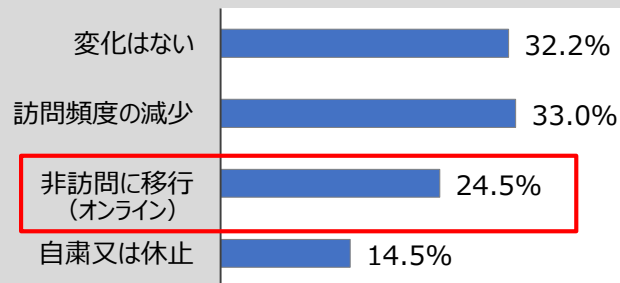


（注）「三大都市圏」とは、首都圏・名古屋圏・大阪圏の都市部。「三大都市圏居住者」とは、三大都市圏に居住する18歳以上の居住者。「地域」とは、対象者の日常生活圏、通勤圏等以外の特定の地域。

（出所）国土交通省「地域との関わりについてのアンケート」（令和元年9月、令和2年9月実施）に基づき東北財務局において作成

#### ②活動手法

＜感染拡大前から特定の地域と関わりのあった人の関わり方の変化＞  
（感染拡大前と後の比較）



（注）関係人口のうち特定の地域を直接訪問する首都圏都市部居住者について、三大都市圏以外の地域（その他地域）との関わり方の変化（複数回答・訪問地域ベース）

#### ③地元企業の状況

地元企業が不安に感じている点

- ✓ 都市部人材の受入れには抵抗感がある
- ✓ 採用にあたっての資金面の負担が心配
- ✓ どんな仕事を任せればよいかわからない
- ✓ 感染拡大で他の地域との往来等に気をつかう

企業の不安を払拭し、複業人材の活用に対する理解促進

地域と複業双方に精通した関係案内人の積極的な関与が必要

### Ⅲ. 事例紹介（岩手県）

#### 実績

	セミナー等参加者 (延べ人数)	マッチング実績
H30年度	223人	5件
R元年度	131人	22件
R2年度	147人	25件

#### <主な業種>

食料品製造、水産加工、農業、宿泊

宿泊、自動車部品製造

地域団体（観光地域づくり法人等） 等

#### （県内企業・団体の声）

- ・ 都内に営業所や社員を置くのは負担が大きい。都内で働いている方に力を借りたほうが良い成果が期待できます。
- ・ 普段関わることのない分野の方から提案をいただき、参考になりました。

#### （複業人材の声）

- ・ 実際に地域企業の方にお会いし、その熱い思いに共感。私も「地域のために」力になりたいと思いました。
- ・ これからももっと多くの地域に関わりたいと思いました。

（出所）岩手県ホームページ、岩手県提供資料

#### 今後の課題と対応

- 複業人材の更なる活用に向けて、地元企業に対する支援態勢を強化。  
⇒ 市町村との連携を強化し、関係案内人の育成を推進。マッチング後の継続したフォローなど企業との関わり方も検討。
- イベントのオンライン化により移動等の制約がなくなる一方、企業や地域とのつながりを意識する直接交流の機会が減少。  
⇒ オンラインによる現地調査など臨場感を伝えるための工夫により、関係者同士の交流の質を維持していく。